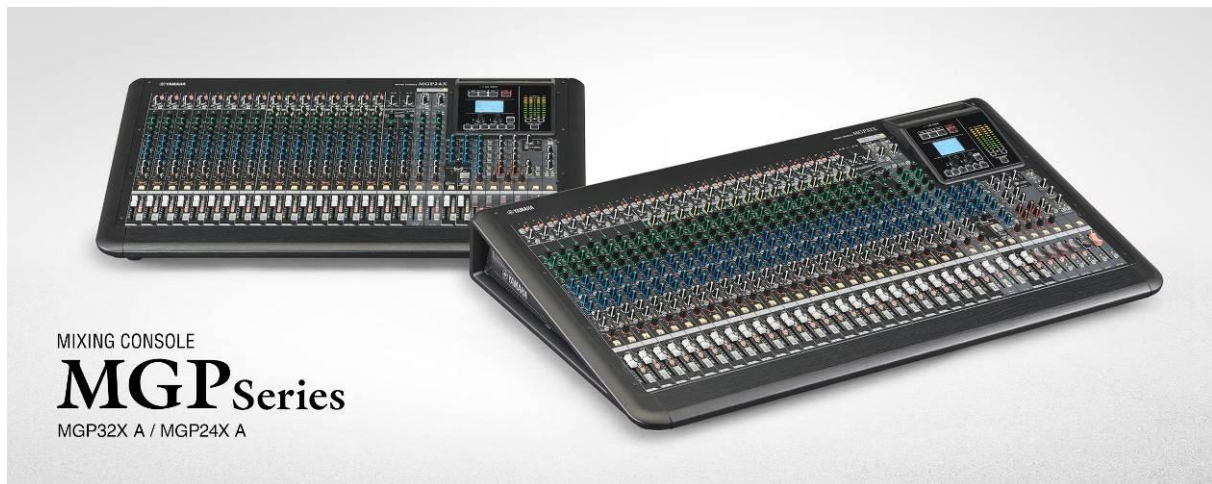


アナログ・デジタル両方のノウハウを融合させた中規模イベント向けモデル ヤマハ ミキシングコンソール 『MGP32X A』 『MGP24X A』

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、ミキシングコンソール『MGP32X A』 『MGP24X A』を2026年8月に発売します。



ミキシングコンソール 『MGP32X A』 『MGP24X A』

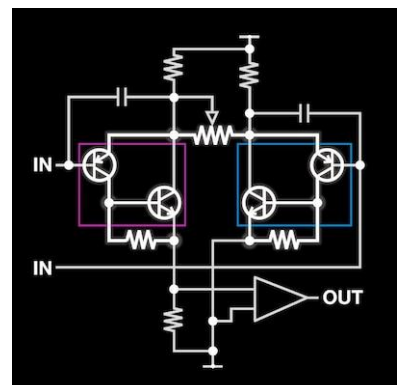
このたび発売する『MGP32X A』 『MGP24X A』は、高品位なアナログ機器の開発プロセスとデジタル技術の融合をコンセプトとした、「MGP32X」「MGP24X」の後継モデルとなるミキシングコンソールです。音質を決定する入力部にはディスクリート Class-A マイクプリアンプ「D-PRE」を、イコライザーには往年の名機特有の周波数特性を再現した「X-pressive EQ」を搭載しています。さらに、USB デバイス録音・再生機能やマスターコンプレッサー、グラフィックイコライザーに加え、高品位な2系統のエフェクトを搭載し、プロフェッショナルな現場で求められる多数の機能を備えながら直感的な操作性を実現しています。

モデル名	品番	価格	発売時期
ミキシングコンソール	MGP32X A	オープンブライス	2026 年 8 月
	MGP24X A	オープンブライス	

＜主な特長＞

1. ディスクリート Class-A マイクプリアンプ「D-PRE」を搭載した入力部

増幅素子を多段構成とし歪みの発生を抑制するインバーテッドダーリントン回路を採用し、音楽的なキャラクターを持った豊かな低音と伸びやかな高音を実現するディスクリート Class-A マイクプリアンプ「D-PRE」を搭載しました。また、各チャンネルに独立したファンタムスイッチを設けており、不要なノイズトラブルを防止します。



2. 往年の名機と呼ばれるイコライザーの特性を再現した「X-pressive EQ」

モノラル入力チャンネルのイコライザーには、デジタルミキサーの研究・開発を通して得たノウハウを活かした「X-pressive EQ」を搭載しました。往年の名機と呼ばれるイコライザーなどのアナログ機器のサウンドを再現する、というコンセプトで開発したもので、当社独自の技術「VCMテクノロジー」によって解析した結果をもとに実現しています。音質補正だけでなく、積極的なサウンドメイキングにも活用できます。

3. USB デバイスレコーダー

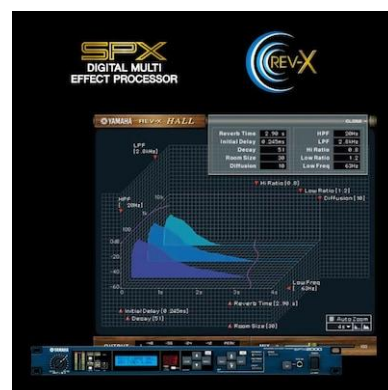
ミックスした音声をUSBデバイスにオーディオファイルとして録音したり、USBデバイスに保存した楽曲をチャンネル出力やバス出力へ割り当てて再生できるUSBデバイスレコーダー機能を搭載しています。対応ファイルフォーマットは、録音がWAVとMP3(MPEG-1 Audio Layer-3)、再生がWAV、MP3およびAACです。

4. メインコンプレッサー、グラフィックイコライザーを搭載

出力信号の音圧を調整するコンプレッサー (COMP) / マルチバンドコンプレッサーや、ハウリング防止などの音質補正をするグラフィックイコライザー (GEQ) をステレオメインに搭載しています。

5. 高品位リバーブ「REV-X」とマルチエフェクターとして定評の「SPX」を搭載

REV-X アルゴリズム(8種類)とSPX アルゴリズム(16種類)の2系統のエフェクトを搭載しています。「REV-X」は、高密度で豊かな残響の音質、なめらかな減衰、原音を生かす広がりや奥行き、といった特長を持つリバーブです。「SPX」はリバーブ、ディレイ、モジュレーション系エフェクト、複数のエフェクトを組み合わせた複合エフェクトなど、さまざまな用途に対応したエフェクトです。



6. イベント SR やパーティー会場での使用に便利なダッカー (Ducker)、レベラー (Leveler) 機能

ステレオ入力チャンネルにダッカー、レベラー機能を搭載しています。ダッカーは、BGM(バックグラウンドミュージック)再生中に司会が話し始めると、BGMの音量を自動的に下げる機能です。レベラーは、マスターリングレベルの異なる音源の使用時に音量を一定にそろえる機能です。

詳しい仕様は下記製品ページをご覧ください。

<https://jp.yamaha.com/products/proaudio/mixers/mgp/index.html>

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当: 佐藤 圭 TEL 050-3148-8660
ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター

https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/ (Web フォームよりお問い合わせが可能です)